心臓の機能障害の状況及び所見（18歳以上用）

|  |
| --- |
| （該当するものを○で囲むこと。）１　臨床所見 　ア　動　　　悸（有・無）　　　　ク　心　拍　数　イ　息　切　れ（有・無）　　　　ケ　脈拍数　ウ　呼吸困難（有・無）　　　　コ　血圧　　（最大　　、最小　　）　　エ　胸　　　痛（有・無）　　　　サ　心音　オ　血　　　痰（有・無）　　　　シ　その他の臨床所見　カ　チアノーゼ（有・無）　　　　ス　重い不整脈発作のある場合は、その発作　キ　浮　　　腫（有・無）　　　　　時の臨床症状、頻度、持続時間等２　胸部Ｘ線所見（　　年　　月　　日） 呼吸困難　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　心　胸　比３　心電図所見（　　年　　月　　日）　ア　陳旧性心筋　　　　　　　　　　（有・無）　イ　心　室　負　荷　像　　　　　　　　（有＜右室、左室、両室＞・無）　ウ　心　房　負　荷　像　　　　　　　　（有＜右房、左房、両房＞・無）　エ　脚　ブ　ロ　ッ　ク　　　　　　　　（有・無）　オ　完全房室ブロック　　　　　　　　（有・無）　カ　不完全房室ブロック　　　　　　　　（有第　　度・無）　キ　心房細動（粗動）　　　　　　　　（有・無）　ク　期外収縮　　　　　　　　　（有・無）　ケ　Ｓ　Ｔ　の　低　下　　　　　　　　（有　　ｍＶ・　　　無）　コ　第Ⅰ誘導、第Ⅱ誘導及び胸部誘導（ただし、Ｖ1を除く。）のいずれかのＴの逆転　　　　　　（有・無）　サ　運動負荷心電図におけるＳＴの0.1ｍＶ以上の低下　　　 （有・無）　シ　その他の心電図所見　ス　不整脈発作のある者では、発作中の心電図所見（例えば年月日） |

|  |
| --- |
| ４　活動能力の程度　ア　家庭内での普通の日常生活活動若しくは社会での極めて温和な日常生活活動については支障がなく、それ以上の活動でも著しく制限されることがないもの又はこれらの活動では心不全症状若しくは狭心症症状が起こらないもの　イ　家庭内での普通の日常生活活動若しくは社会での極めて温和な日常生活活動には支障がないが、それ以上の活動は著しく制限されるもの又は頻回に頻脈発作を繰り返し、日常生活若しくは社会生活に妨げとなるもの　ウ　家庭内での普通の日常生活活動又は社会での極めて温和な日常生活活動には支障がないが、それ以上の活動では心不全症状又は狭心症症状が起こるもの　エ　家庭内での極めて温和な日常生活活動には支障がないが、それ以上の活動では心不全症状若しくは狭心症症状が起こるもの又は頻回に頻脈発作を起こし、救急医療を繰り返し必要としているもの　オ　安静時若しくは自己身辺の日常生活活動でも心不全症状若しくは狭心症症状が起こるもの又は繰り返してアダムスストークス発作が起こるもの５　ペースメーカ　　　　　　　　　（有・無）　　人工弁移植、弁置換　　　　　　　　　（有・無）６　ペースメーカの適応度　（クラスⅠ・クラスⅡ・クラスⅢ）７　身体活動能力（運動強度）　（　　　メッツ） |